

6.2.4 動物

1) 貴重な動物種の移動後の生息状況

(1) 調査期間

本調査の実施期間を表 6.2.4-1 に示した。

表 6.2.4-1 調査期間一覧

地区/季節	春季	夏季	秋季	冬季
G	平成 29 年 6 月 29 日	平成 29 年 8 月 22 日	平成 29 年 10 月 31 日	平成 30 年 1 月 23 日
G 進入路	- (工事中に示す)		平成 29 年 10 月 31 日	平成 30 年 1 月 23 日
H	平成 29 年 6 月 28 日	平成 29 年 8 月 22 日 平成 29 年 8 月 23 日	平成 29 年 11 月 7 日	平成 30 年 1 月 24 日
N-1(a)、(b)	平成 29 年 6 月 28 日	平成 29 年 8 月 22 日	平成 29 年 10 月 19 日	平成 30 年 1 月 23 日
歩道	平成 29 年 6 月 29 日	平成 29 年 9 月 4 日	平成 29 年 10 月 19 日	平成 30 年 2 月 5 日
既存道路	平成 29 年 6 月 28 日	平成 29 年 8 月 22 日	平成 29 年 10 月 19 日	平成 30 年 1 月 24 日

(2) 調査方法

モニタリング対象 2 種(、)について、個体の生息状況を目視にて確認した。については、生息場保全の観点から個体の確認は行わず、排出される削りかす等の確認により生息状況を判定した。また、については巣穴の数で生息状況を確認した。

(3) 調査地点

調査地点は、図 6.2.4-1～図 6.2.4-4 に示した。

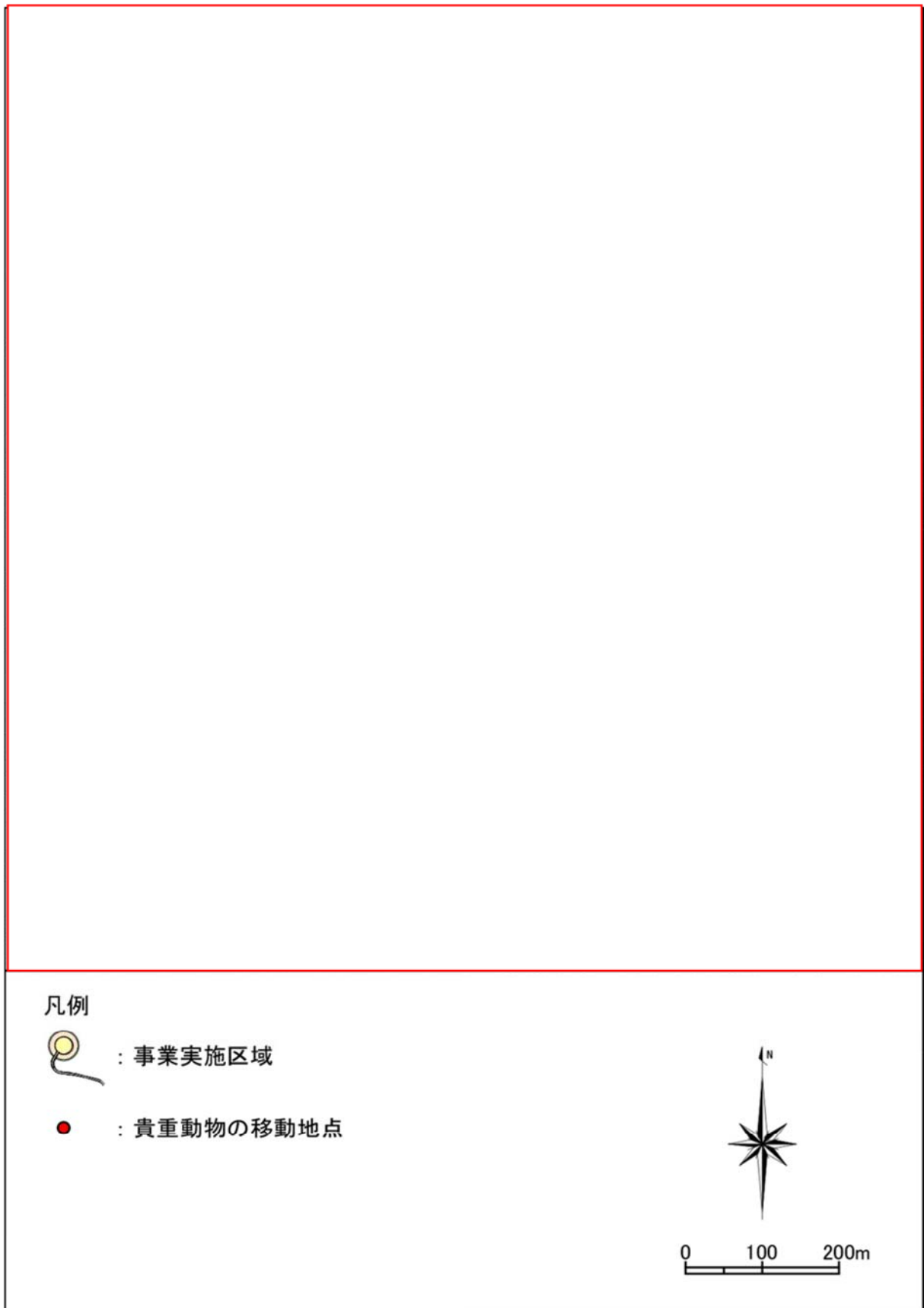


図 6.2.4-1 モニタリング対象 2 種の捕獲移動場所 (G 地区、G 進入路)

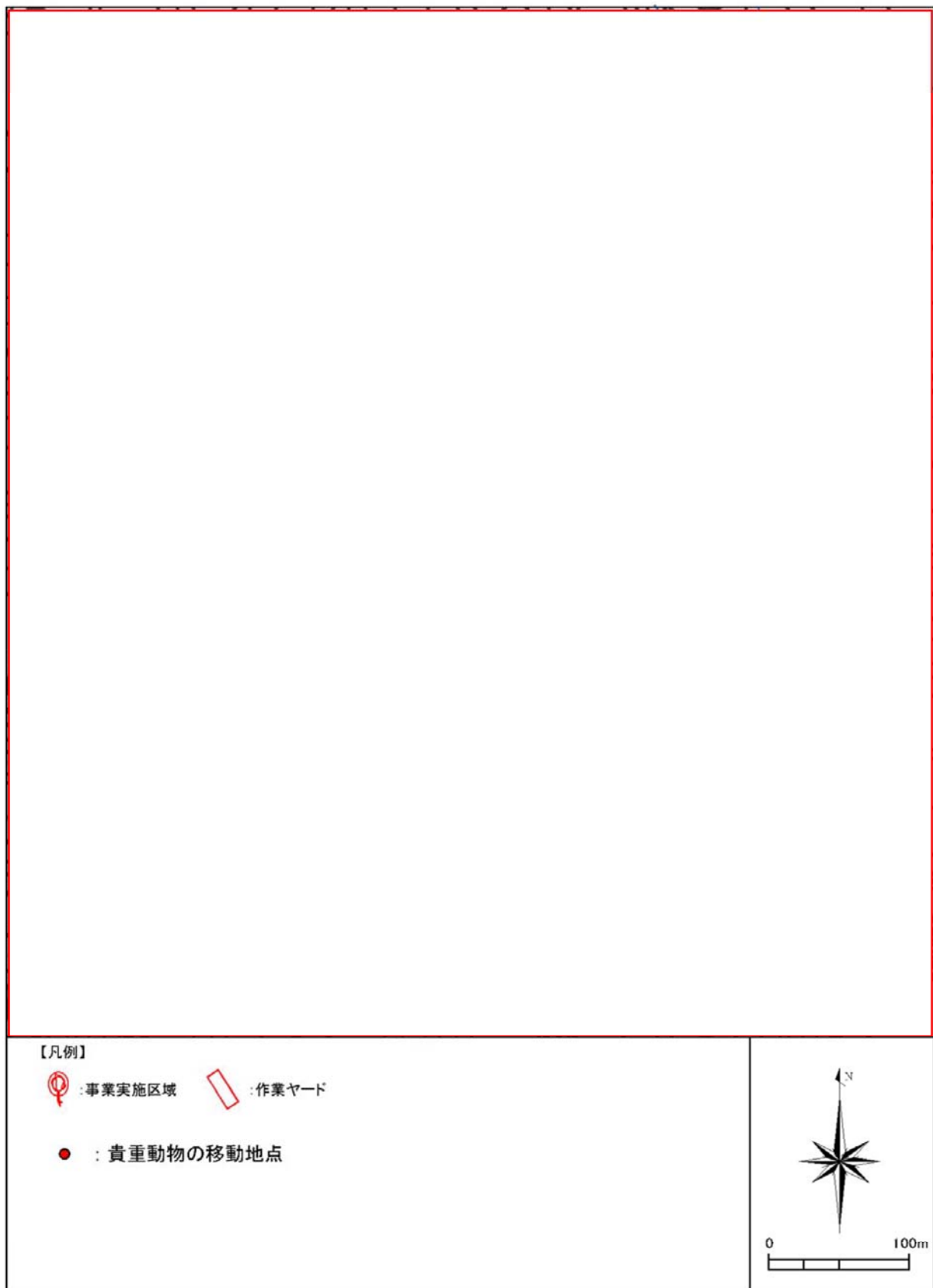


図 6.2.4-2 モニタリング対象2種の捕獲移動場所(H地区)

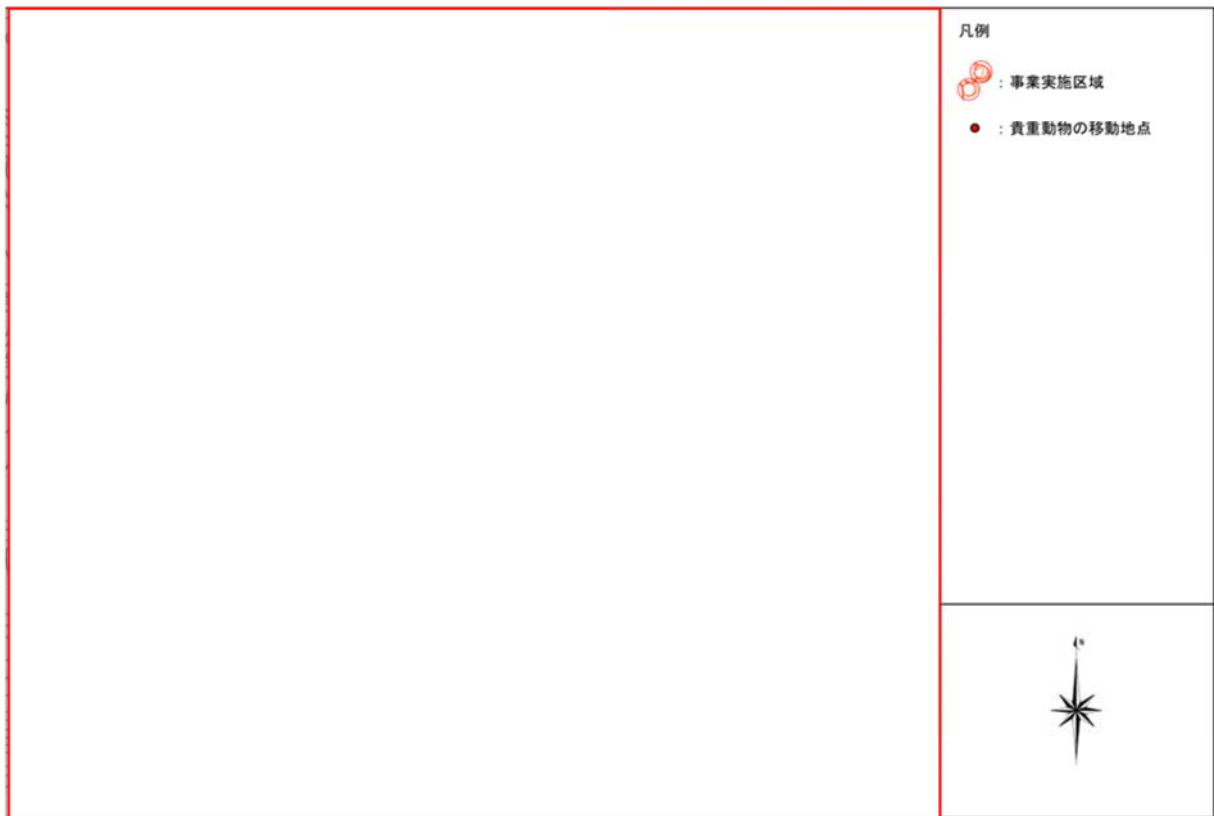


図 6.2.4-3 モニタリング対象 2 種の捕獲移動場所 (N-1 地区、既存道路)



図 6.2.4-4 モニタリング対象 2 種の捕獲移動場所 (歩道)

(4) 調査結果

a) G 地区 (G 進入路含む)

(a)

G 進入路の移動先における の移動後の生息状況を表 6.2.4-2 に、確認状況を図 6.2.4-5 に示した。

移動した 2 箇所 の 5 生息木のうち、平成 30 年 1 月時点で 4 生息木について生息が確認された。

なお、移動先の周囲では移動した生息木の他に生息木の確認はなかった。

表 6.2.4-2 の移動後の生息状況 (G 進入路)

No.	移動年月	生息木	確認状況			
			平成 29 年 6 月	平成 29 年 8 月	平成 29 年 10 月	平成 30 年 1 月
G 進-1	H28.9	No. 1	○ 周辺生息木なし	○ 周辺生息木なし	○ 周辺生息木なし	○ 周辺生息木なし
	H28.10	No. 2	○ 周辺生息木なし	○ 周辺生息木なし	○ 周辺生息木なし	○ 周辺生息木なし
G 進-2	H28.9	No. 1	生息確認なし 周辺生息木なし	生息確認なし 周辺生息木なし	○ 周辺生息木なし	生息確認なし 周辺生息木なし
		No. 2	生息確認なし 周辺生息木なし	生息確認なし 周辺生息木なし	生息確認なし 周辺生息木なし	○ 周辺生息木なし
	H28.9	No. 3	生息確認なし 周辺生息木なし	生息確認なし 周辺生息木なし	生息確認なし 周辺生息木なし	○ 周辺生息木なし

注) 「○」は削りかす(生息痕)の確認を示し、周辺の生息状況を併記した。



移動した生息木



生息木と排出カス

図 6.2.4-5 の移動後の確認状況 (G 進入路)

(b)

G 地区及び G 進入路の移動先における の移動後の生息状況を表 6.2.4-3 に、確認状況を図 6.2.4-6 に示した。

移動した 8 個体のうち、平成 30 年 1 月時点で 4 個体について巣穴が確認された。移動先の環境はやや湿潤であった。

表 6.2.4-3 の移動後の生息状況 (G 地区、G 進入路)

No.	移動年月	移動数	確認状況			
			平成 29 年 6 月	平成 29 年 8 月	平成 29 年 10 月	平成 30 年 1 月
G-1	H28.10	5	3 やや湿潤	3 やや湿潤	3 やや湿潤	2 やや湿潤
G 進-3	H28.9	3	3 やや乾燥	2 やや乾燥	2 やや湿潤	2 やや湿潤
計		8	6	5	5	4

注) 巣穴周辺の土壌の状態も併記した。



移動先の環境



の巣穴

図 6.2.4-6 の移動後の確認状況 (G 地区、G 進入路)

b) H 地区

(a)

H 地区の移動先における の移動後の生息状況を表 6.2.4-4 に、確認状況を図 6.2.4-7 に示した。

移動した 2 生息木の全てにおいて、平成 30 年 1 月に削りかすにより生息を確認し、移動後の生息状況は良好であった。

なお、移動先の周囲では移動した生息木の他に生息木の確認はなかった。

表 6.2.4-4 の移動後の生息状況 (H 地区)

No.	移動年月	生息木	確認状況			
			平成 29 年 6 月	平成 29 年 8 月	平成 29 年 11 月	平成 30 年 1 月
H-1	H28.9	No. 1	○ 周辺生息木なし	○ 周辺生息木なし	○ 周辺生息木なし	○ 周辺生息木なし
		No. 2	○ 周辺生息木なし	○ 周辺生息木なし	○ 周辺生息木なし	○ 周辺生息木なし

注) 「○」は削りかす(生息痕)の確認を示し、周辺の生息状況を併記した。



移動した生息木



生息木と排出カス

図 6.2.4-7 の移動後の確認状況 (H 地区)

(b)

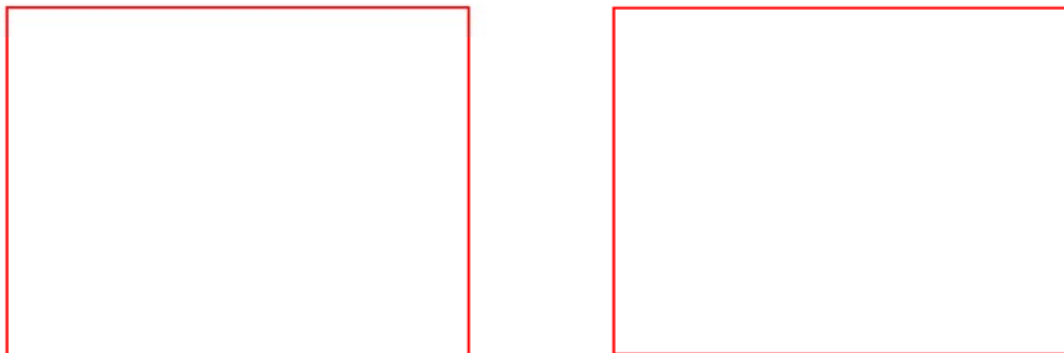
H地区の移動先におけるの移動後の生息状況を表 6.2.4-5 に、図 6.2.4-8 に示した。

H地区の移動先では、移動した45個体のうち確認できた巣穴は、平成30年1月時点で9巣と減少していた。ただし、これらの巣穴の周囲に、H-2の移動先では26~34巣、H-3の移動先では21~24巣の巣穴が確認されており、移動個体が新たに巣穴を掘った可能性がある。いずれの移動先もやや湿潤な環境であり、本種の生息場として適しているものと考えられた。

表 6.2.4-5 の移動後の生息状況(H地区)

No.	移動年月	移動数	確認状況			
			平成29年6月	平成29年8月	平成29年11月	平成30年1月
H-2	H28.8	35	14 やや湿潤	11 やや湿潤	7 やや湿潤	7 やや湿潤
H-3	H28.8	10	6 やや湿潤	2 やや湿潤	0 やや湿潤	2 やや湿潤
計		45	20	13	7	9

注) 巣穴周辺の土壌の状態も併記した。



移動先の環境

の巣穴

図 6.2.4-8 の移動後の確認状況(H地区)

c) N-1 地区・既存道路

(a)

N-1 地区及び既存道路の移動先における の移動後の生息状況を表 6.2.4-6 に、確認状況を図 6.2.4-9 に示した。

移動した 3 箇所 の 4 生息木の全てにおいて、平成 30 年 1 月に削りかすにより生息を確認し、移動後の生息状況は良好であった。

なお、移動先の周囲では移動した生息木の他に生息木の確認はなかった。

表 6.2.4-6 の移動後の生息状況 (N-1 地区・既存道路)

No.	移動年月	生息木	確認状況			
			平成 29 年 6 月	平成 29 年 8 月	平成 29 年 10 月	平成 30 年 1 月
N1-1	H28.8	No.1	○ 周辺生息木なし	○ 周辺生息木なし	○ 周辺生息木なし	○ 周辺生息木なし
既-2	H28.7	No.1	生息確認なし 周辺生息木なし	○ 周辺生息木なし	○ 周辺生息木なし	○ 周辺生息木なし
既-3	H28.7	No.1	○ 周辺生息木なし	○ 周辺生息木なし	○ 周辺生息木なし	○ 周辺生息木なし
		No.2	生息確認なし 周辺生息木なし	生息確認なし 周辺生息木なし	生息確認なし 周辺生息木なし	○ 周辺生息木なし

注) 「○」は削りかす(生息痕)の確認を示し、周辺の生息状況を併記した。



移動した生息木 (N1-1)



生息木と排出カス

図 6.2.4-9 の移動後の確認状況 (N-1 地区、既存道路)

(b)

既存道路の移動先における の移動後の生息状況確認結果を表 6.2.4-7 に、確認状況を図 6.2.4-10 に示した。

移動した 11 個体のうち、平成 30 年 1 月時点で 7 巣について生息が確認された。移動先の環境はやや湿潤であり、移動後の生息状況は良好と考えられた。

表 6.2.4-7 の移動後の生息状況確認結果(既存道路)

No.	移動年月	移動数	確認状況			
			平成 29 年 6 月	平成 29 年 8 月	平成 29 年 11 月	平成 30 年 1 月
既-1	H28.8	5	5 やや湿潤	4 やや湿潤	4 やや湿潤	4 やや湿潤
		6	5 やや湿潤	5 やや湿潤	5 やや湿潤	3 やや湿潤
計		11	10	9	9	7

注) 巣穴周辺の土壌の状態も併記した。



移動先の環境



の巣穴

図 6.2.4-10 の移動後の確認状況(N-1 地区、既存道路)

d) 歩道

a)

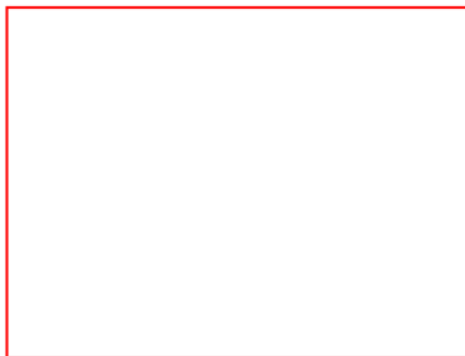
歩道の移動先における の移動後の生息状況を表 6.2.4-8 に、確認状況を図 6.2.4-11 に示した。

移動した 2 カ所の 2 生息木の全てにおいて、平成 30 年 1 月に削りかすを確認し、移動後の生息状況は良好であった。移動先周囲では、移動した生息木の他には生息木の確認はなかった。

表 6.2.4-8 の移動後の生息状況 (歩道)

No.	移動年月	生息木	確認状況			
			平成 29 年 6 月	平成 29 年 8 月	平成 29 年 11 月	平成 30 年 2 月
歩-2	H28.10	No.1	○ 周辺生息木なし	○ 周辺生息木なし	○ 周辺生息木なし	○ 周辺生息木なし
歩-3	H28.10	No.1	生息確認なし 周辺生息木なし	○ 周辺生息木なし	○ 周辺生息木なし	○ 周辺生息木なし

注) 「○」は削りかす(生息痕)の確認を示し、周辺の生息状況を併記した。



移動した生息木



生息木と排出カス

図 6.2.4-11 の移動後の確認状況 (歩道)

b)

歩道の移動先における の移動後の生息状況確認結果を表 6.2.4-9 に、確認状況を図 6.2.4-12 に示した。

移動した 5 個体のうち確認できた巣穴は 1 個体のみであった。平成 29 年 6 月からは移動先の上を覆っていた樹木が倒壊し日当たりが良くなったため移動先がやや乾燥気味になっていた。ただし、周辺草本の日陰などに 26~43 巣の巣穴が確認され、移動個体が新たに巣穴を掘った可能性がある。

表 6.2.4-9 の移動後の生息状況確認結果(歩道)

No.	移動年月	移動数	確認状況			
			平成 29 年 6 月	平成 29 年 8 月	平成 29 年 11 月	平成 30 年 2 月
歩-1	H28.10	5	1 やや乾燥	1 やや乾燥	1 やや乾燥	1 やや乾燥
	計	5	1	1	1	1

注) 巣穴周辺の土壌の状態も併記した。



移動先の環境



の巣穴

図 6.2.4-12 の移動後の確認状況(歩道)